

日時： 令和6年5月14日(火)

浦安とみおか川柳会

出席者： 真田宣子、塩見和昭、(高橋謙哉)、谷口勝、
長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、藤三休、
山岸順

講師： 佐藤青樹

五月例会結果

点数
講師
推奨
課題「楽観」互選
講評＊佐藤青樹

6. また赤字何とかなると妻笑う
勝

一読明快、年季の入った頼りになる奥様が見えるような句
また赤字何とかなると笑う妻

「妻笑う」と「笑う妻」とどちらが好いでしょう

十年後の俺の住所は地球外
謙哉

一読明快、面白くできました

一豊の妻がいるから大丈夫
順

一豊の妻の内助の功の句でしようか

内助の功当てに一豊高野

力まない人生もまた生きる道
ひかる

一読明快、同感の句

悩み事酒の肴に丁度いい
順

「悩み事を酒の肴にする」のが楽観なのですね

悩み事酒の肴にして忘れ

ケセラセラ財布空でも明日がある
勝

一読明快の句

裏金を叩く野党もほこり出る
和昭

一読明快、「叩く」と「ほこり出る」が効いていますね

可も不可もさらりと受ける厚い胸
ひかる

レポートなどAIチャットお手のもの
和昭

世はAI時代、レポートだけではなく、今に試験の

カンニング等にも活用する時代が来るのでは

楽観は出来ぬと医師の厳しい目
みちえ

一読明快、医者と患者の気持ちが分かるような句

目見当買ったドレスに裏切られ
みちえ

「目見当」と「ドレスに裏切られ」の対比が効いていますね

1
スヤスヤと昼まで寝てる不眠症
順

不眠症ー安眠出来ない夜が慢性的に続く状態。昼はスヤスヤ眠れる

朝になりや眠れるはずと不眠症
のでしようか

明けぬ夜はないと悲しみ乗り越える
みちえ

一読明快、「明けぬ夜はない」の比喻が効いていますね

大谷の話題で過ぎるテレビ界
智

大谷の話題で稼ぐ視聴率

疲れてるだけだと医者に見せもせず
宣子

疲れているのは、誰で、医者にも見せないのは誰でしょう

風邪なのに妻はふて寝と知らん顔

悲しみをおもちやにしてるZ世代
宣子

Z世代とはそんなものなのでしょうか。なおZ世代は6音

気分だけリツチになった株価高
和昭

株の保有の有無を読者の推量に任せた句か

ふられても次があるさと高笑い
勝

これこそ楽観でしようか

花吹雪しやがまず取れる車椅子
花吹雪ならば取れると車椅子

将来は地球脱出木星に

一読明快の句

核融合新電力の夢担い

核融合の発電は楽観できる程安全であつて欲しいものですね

病院の予約忘れて後回し

「やれやれ」の句でしようか

決め事は明日か明後日かいつの日か

指切りを忘れて彼女に逃げられる

難問もたやすくクリア受験生

難問を舐めてかかって入試落ち

川柳いろいろ

没句

一人選（けしからん）
田舎のバス時刻通りで乗り遅れ
雷が落ちたみたいなの父の声
触るなど言えば尚更指で押す
ブレーキを踏んだつもりで家族見る
無礼だけどポケットに入れ別れよう
今日鳴るニセ息子の詐欺電話

自由吟

裏技が裏目に出たかマイク消し
値上げして最高益を出す企業
リーダーの口舌響き補選負け
平社員宴会部長に昇格す
鯉幟昔は家族今は群れ
ベル慣らし歩道走行高齢者
なれました暑さの中のマスク掛け
隠したい言葉をそっと鉢に植え
予知連は解析得意予知苦手
ロボットに仕事取られて探す職
温暖化ペットの犬がホットドッグ

遠藤砂都市

著作集 モザイクの記

米寿坂杖を頼りにグレている
罷り通る不良シニアの元氣力
多機能をいじって脳にいい波長
性格がすっかり似ているポンコツ車
ときどきは速度オーバーする愛車
米寿から一日用の砂時計
みてくれの五体を夫婦老いくらべ
白を切る腹には黒い計算器
若者の無軌道と呼ぶツイッター

川柳の理論と実践

新家完司

●反復（リフレイン）の効果

ここで言う反復とは「同じ言葉を繰り返す」ことで「リフレイン」とも言います。しかし「詩」では、意識して重複させることによって、印象深い効果を発揮することがあります。短詩である川柳においても同様で、しばしばこころに残る句が生まれています。

- ・勝ち逃げを狙っているな勝ち組は
- ・土踏まずに土を踏ませて安らぎぬ
- ・愚痴言わぬ人には愚痴ひっこめる
- ・気の小さい男は小さい文字を書く
- ・自転車の子 自転車ですがす

「かち、かち」「つち、つち」「ぐち、ぐち」「ちさい、ちさい」「じてんしゃ、じてんしゃ」など同じ言葉の繰り返しが、リズムを生み出しているのが分かります。

そして、この反復のリズムによって、読む人のこころを「コンコン！」とノックしているような感じがします。

ただ、「会話体」と同じように目立つ形ですから、使用し過ぎますとマンネリとかワンパターンと思われるかもしれません。また最初から「今回はリフレインを使おう」などと表現方法を決めてかかるのは邪道です。

いつの場合も「想い」が主で「表現」は従でなければなりません。表現したい想いが生じてから表現に移るのが、すべての創作に共通する基本的な道筋です。

●重言（トートロジー）に注意

前章のリフレインと似て非なる言葉遣いで「トートロジー」或は「同語反復」と呼ばれるものがあります。同語反復では前章の反復とまぎらわしいのでここでは重言と記します。重言とは

馬から落馬 電車に乗車 電球の球 水が増水
日本へ来日 莫大な巨費 色が変色 古い老舗
配慮を払う 今の現状 必ず必要 赤く赤面

など等、同じ言葉を重ねることを言います。それぞれ、物事を「詳しく説明したい」或いは「強調したい」という意識からこのような表現になってしまうのでしょうか。先ほどの反復は表現上の技法ですが、この重言は誤用です。から注意してください。

鑑賞 犬吠 令和四年六月号より

フラワーライン

・千紫万紅より

ちよっとだけ純を振りまく絵空事 中嶋常葉
部屋の一隅に溪流がさらさら 中島かよ
イヤリング納得した時に揺れる 黒木 麗
スローモーションで散る花ののどかさ 岩間直美
自分から離れたくせに泣きたがる 河原田美奈
はじまりと終わりをつなぐ金の糸 堀江喜代子
諦めた時に白秋漂える 松原松代
猫の春うるさいなどと言ってみる 今出洋一
春よ春もう三猿は止めました 斎藤静江
ドレミファソ以外の音で聴かす喉 日野裕子

・黒潮集より

おや君も札束の餌に飛びついて 勝畑五楽
逆風で友を掴んだことがある 岩波敬祐
一人抜け大きな燕が抜けません 阿部けいこ
設計のミスまで真似たチャイナ製 陰山照山
ふる里の雪諦めることばかり 佐藤公江

金波銀波（各地句会報より）

行先の見えぬ介護に疲れはて 伊藤良江
超ミニがギャラリ集め芝を読む 矢野明郎
ジョギングの後は癒しのレモンティー 鶴岡かの
マスク越し自家焙煎の香がとどく 横山よし子
春風のノック嬉しいスニーカー 小林きらら
長老を手本に生きる永田町 常世田汀々
マスク取り裸のようで恥ずかしい 深町閑居
ひかりより速いのぞみで逢いに行く 伊藤 修
マンションの個々の窓にも物語 中野良子
新任の現場リケジョのヘルメット 稲沢ひろせ
春一番モンローウオークあっちこち 川井よし雪
寝なさいと子にしかられる幸もありはなこ
未来ある向学心のランドセル 吉田留治
株価なら狂気乱舞のオミクロン 水沢京子

